



次へのステップアップへ 3年目の挑戦

～意識変化から定着への取り組み～



介護老人保健施設 クリーンパル・ゆう

ノーリフティングケア導入から現在まで

令和5年度

- 「ノーリフティングケアフェス」参加をきっかけに普及促進事業へ参加
- ノーリフティング委員会の発足
- マネジメント研修・技術研修受講、「**必要性和目的**」を学び、「安全で安心な職場づくり」であることを知る
- 日常の「**気づき**」を共有できる体制づくり

職員の意識変化あり



令和6年度

- 委員会活動の継続（メンバーの増員・役割分担）
- マネジメント研修や技術研修への参加
- リスク抽出からの運用方法の検討（対応策の見える化）
- 教育計画（動画研修や他委員会との共同研修）
- 用具点検表の作成や福祉用具導入計画



わずかに腰痛調査に変化が見えてきた...

令和7年度

- 入浴場面の見直しを行い、抱え上げを減らす
- 技術習得のための研修（技術認定試験1名合格）
- 「身体を使い方」の普及

3年目となり職員の意識が停滞しているような...

目標として実施中...



施設の概要

名称 介護老人保健施設 クリーンパル・ゆう

住所 筑後市大字西牟田6363-2

TEL 0942-52-1181

定員 入所 100床（短期入所5床）

通所 40名（デイケア）

要介護度平均 3.04

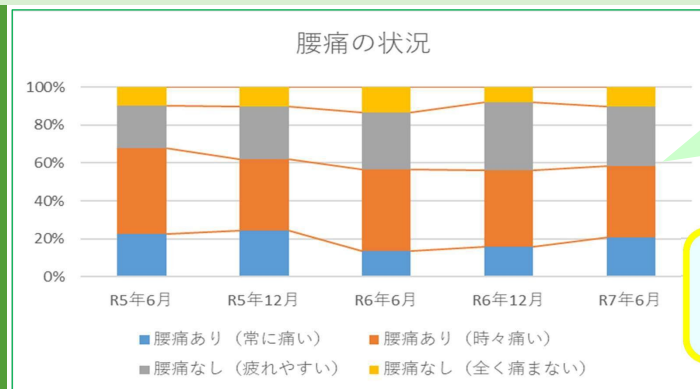
介護職員（入所）の平均年齢 41.7歳

介護職員人数（入所） 26人

敷地内には
特養桜の丘（先輩施設）
障がい者支援施設桜園
植田病院
グループホーム
ヘルパーステーション
居宅介護支援事業所など
様々な福祉施設が隣接しています



腰痛アンケートから見えてきたこと



「腰痛あり」わずかに増加
↓
異動や新入職の職員が「腰痛あり」だった...

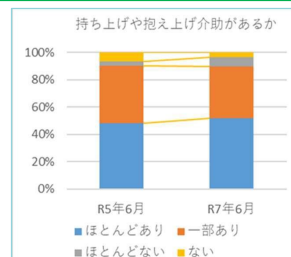
3年目で思ったほどの変化が見えない...



「抱え上げがある」と感じている
職員の割合が減っていない...

個別聞き取り実施

「抱え上げ」があるのは「入浴場面」



入浴場面へのアプローチ

着脱



- ・ 移乗支援の福祉用具が無い
- ・ 何度も抱え上げをしないとイケないため負担が大きい
- ・ 環境面（狭い、など）

介護スタッフへ聞き取り
対象者の評価



職員によって
介助状況が変わる...

- ・ 立ち上がり介助方法
ポスター作成
- ・ キャリー移乗時の
ボード使用の検討
- ・ 移乗支援の福祉用具の
再検討

入浴時の立ち上がり



- ①両足をしゃかりきに腰に挟んでもらう
- ②膝肘を曲げてもらう
- ③両手でボードを握り、両足を踏んでもらう
- ④両手を握り、両足を踏んでもらう
- ⑤両手を握り、両足を踏んでもらう
- ⑥両手を握り、両足を踏んでもらう
- ⑦両手を握り、両足を踏んでもらう
- ⑧両手を握り、両足を踏んでもらう
- ⑨両手を握り、両足を踏んでもらう
- ⑩両手を握り、両足を踏んでもらう

- ・ 介助者の姿勢
- ・ 両足を握り、両足を踏んでもらう
- ・ 両手を握り、両足を踏んでもらう
- ・ 両足を握り、両足を踏んでもらう
- ・ 両手を握り、両足を踏んでもらう

浴室での移乗



移乗支援用福祉用具導入計画



今まで数種類デモ機
体験したが導入まで
に至らず...



福岡県介護DX支援センターHPより
試用貸出申し込み

業者とのZOOMでの説明後
試用開始
(3週間)

業者と中間報告

職員から感想（操作方法や対象者の
受け入れ状況など）を集め、
導入するか検討

移乗支援用福祉用具導入計画

試用開始～職員での体験

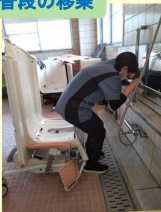
対象者への試用



機械に抵抗が無いのか...
恐怖心は...

普段の移乗

浴室での試用



手順が少ない
対象者が複数いる
浴室で使いやすい...

今後導入の
方向で検討

教育・研修計画

研修方法の変更

- ・ 小人数ずつ
- ・ 業務調整の協力依頼
- ・ 月2回1時間設定



1項目ずつ対象
スタッフが受講
できるまで
↓
次の項目へ



計画通りに実施できるようになった
現在進行形で継続中...

【ノーリフティングケア委員会】年間計画書 2025年(令和7年)									
＜委員会構成メンバー＞									
統括マネージャー(委員長): 角									
総務管理: 池上・高橋									
教育管理: 角(池上・高橋)									
プランニング担当: 橋本・尾島・山口									
福祉用具管理: 志保・尾島・松田									
技術指導担当: 志保(池上・高橋)									
開催日	開催日	開催日	開催日	開催日	開催日	開催日	開催日	開催日	開催日
4月 4日 10:00	5月 10日 10:00	6月 10日 10:00	7月 10日 10:00	8月 10日 10:00	9月 10日 10:00	10月 10日 10:00	11月 10日 10:00	12月 10日 10:00	1月 10日 10:00
5月 10日 10:00	6月 10日 10:00	7月 10日 10:00	8月 10日 10:00	9月 10日 10:00	10月 10日 10:00	11月 10日 10:00	12月 10日 10:00	1月 10日 10:00	2月 10日 10:00
6月 10日 10:00	7月 10日 10:00	8月 10日 10:00	9月 10日 10:00	10月 10日 10:00	11月 10日 10:00	12月 10日 10:00	1月 10日 10:00	2月 10日 10:00	3月 10日 10:00
7月 10日 10:00	8月 10日 10:00	9月 10日 10:00	10月 10日 10:00	11月 10日 10:00	12月 10日 10:00	1月 10日 10:00	2月 10日 10:00	3月 10日 10:00	4月 10日 10:00
8月 10日 10:00	9月 10日 10:00	10月 10日 10:00	11月 10日 10:00	12月 10日 10:00	1月 10日 10:00	2月 10日 10:00	3月 10日 10:00	4月 10日 10:00	5月 10日 10:00
9月 10日 10:00	10月 10日 10:00	11月 10日 10:00	12月 10日 10:00	1月 10日 10:00	2月 10日 10:00	3月 10日 10:00	4月 10日 10:00	5月 10日 10:00	6月 10日 10:00
10月 10日 10:00	11月 10日 10:00	12月 10日 10:00	1月 10日 10:00	2月 10日 10:00	3月 10日 10:00	4月 10日 10:00	5月 10日 10:00	6月 10日 10:00	7月 10日 10:00
11月 10日 10:00	12月 10日 10:00	1月 10日 10:00	2月 10日 10:00	3月 10日 10:00	4月 10日 10:00	5月 10日 10:00	6月 10日 10:00	7月 10日 10:00	8月 10日 10:00
12月 10日 10:00	1月 10日 10:00	2月 10日 10:00	3月 10日 10:00	4月 10日 10:00	5月 10日 10:00	6月 10日 10:00	7月 10日 10:00	8月 10日 10:00	9月 10日 10:00
1月 10日 10:00	2月 10日 10:00	3月 10日 10:00	4月 10日 10:00	5月 10日 10:00	6月 10日 10:00	7月 10日 10:00	8月 10日 10:00	9月 10日 10:00	10月 10日 10:00
2月 10日 10:00	3月 10日 10:00	4月 10日 10:00	5月 10日 10:00	6月 10日 10:00	7月 10日 10:00	8月 10日 10:00	9月 10日 10:00	10月 10日 10:00	11月 10日 10:00
3月 10日 10:00	4月 10日 10:00	5月 10日 10:00	6月 10日 10:00	7月 10日 10:00	8月 10日 10:00	9月 10日 10:00	10月 10日 10:00	11月 10日 10:00	12月 10日 10:00

年間計画作成したが...

- ・ 他の研修と重なる
- ・ 業務時間内に集まらない

集合研修が難しく
計画通りに実施できない



Good!

教育・研修計画

褥瘡委員会とのコラボ研修

- ・褥瘡対策委員会との合同
- ・他部署にも向けた集合研修
- ・業務時間内に実施



地域連絡協議会の技術交流会にスタッフ2名参加

他部署への自己研鑽研修

- ・他部署への啓発
- ・自己研鑽のため業務時間外



「継続」できていること

積極的な福祉用具の導入



- ・電動で高さ調整ができるため安定した姿勢で介助ができる
- ・移乗時の抱え上げが無くなった



朝の体操とストレッチ



積極的に福祉用具の活用ができている
体操継続への意識が定着

3年間の「変化」

11月 職員へアンケートを実施

取り組みが始まって 「変わったこと」「気づいたこと」

- ・利用者を抱えることが減った
- ・介護技術も昔から方法が変わってきていること、現在の自分の方法を見直すことができた
- ・移乗などがやりにくい方に対しての介助方法の検討やボードの使用などがある程度定着してきた
- ・移乗介助中の事故が少なくなった
- ・一人では負担がかかと思ったら応援を依頼するなど自分を労うようになった
- ・リフトを使用することで腰への負担軽減を感じている

取り組みの中で 「分らないこと」「気になること」

- ・脱衣所にベッドが欲しい
- ・移乗時に使用する福祉用具の判断が難しい
- ・研修で参考になったことも実践でやってみると思ったほどうまくできない
- ・身体状況に応じた対応が必要だと思うが、やり方（手技）が分からない
- ・ノーリフティングケアが始まってから腰痛になると「ノーリフティングケアのやり方ができていないのでは？」と悪いような雰囲気を感じる
- ・腰痛になると注意を受けることがある

たくさんの「良い変化」もあった
しかし、次の「課題」も見えてきた...

おわりに ～「定着」に向けて～

意識変化はあるが...
理解にばらつきがある
取組みに対して「慣れ」が生まれ始めている

今後に向けて

委員会メンバー
(コアメンバー)
育成と組織作り
(マネジメント・教育含めて)

福祉用具の
管理と選定方法
の見直し

新入職者への
教育体制作り

「ノーリフティング
ケアの必要性和
目的」の定期的な
発信

「ノーリフティングケア体制の再構築」